

会報いずこうげん【号外】

2020年10月1日

伊豆高原親和会

【はみ出し樹木の管理、再度のお願い】

伊豆高原分譲地では、当初より自然を大切に土地・建物の管理をお願いしてきております。しかし、分譲を始めてから50年以上経過する中で、植栽した当時は小さな木であったものが、今は大きく成長し、道路や隣地にはみ出し、様々な問題を引き起こしているのも事実です。

伊豆高原親和会としては、緑を大切にしながら、生活環境を良好に保つために、会員皆様のご協力で私たちが自ら定めた自主規制を遵守し、問題の解決を図っていきたいと考えます。

はみ出し樹木が引き起こしている問題は

1. 道路にはみ出した樹木が通行の邪魔になること

具体的には

- ・敷地からはみ出した樹木を避けて通行するため、車が道路の中央側によるので車両のすれ違いができなくなったり、歩行者との接触事故を起こしやすくなったりしていること
- ・無理に車がすれ違おうとして、はみ出し樹木に接触し車両に傷をつけてしまうこと
- ・速度を出して走っている場合は、はみ出し樹木を避けることで対向車と車両衝突事故を起こしてしまう危険があること

2. 隣地にはみ出した樹木が、隣家の家屋を傷つける危険があること

3. 昨今の気象変化で強風が珍しくなく、木の枝が折れて飛散するだけでなく、木の幹から折れて、隣の家を壊したり、電線を切って停電を引き起こしたり、道路に倒れて通行を遮断してしまう、などのことが現実の問題として起きています。特に昨年の台風襲来時の被害は予想を遥かに超え、親和会としても業者に依頼して処置をするなどの費用が掛かる事態になっています。

会員の皆様の生活環境に関する考え方は様々ありますので、問題になっている樹木の管理についても過剰に対応することは避けたいと思いますが、上記のような問題が起きていることも事実ですので、皆様のご配慮を賜り、安全で住みやすい伊豆高原を作っていききたいとの観点から樹木管理をお願いする次第です。



ナラ枯れにご注意！！

会報いずこうげん号外

2020年10月1日

最近、ご近所で緑の林の中に茶色く葉が枯れている木が目につきませんか。伊豆高原では普通にあるナラやカシ、シイの仲間の木です。これはナラ枯れといって、カシノナガキクイムシが引き起こしています。この虫は、特に大きな幹の木を好み、また明るいところを好みますので、道路わきの幹の太い木は要注意です。虫は直径1.5mmほどの穴をあけて木の中に入り込みます。虫が入った木の下には細かい粉のような木屑が溜まっているのですぐわかります。

ナラ枯れはなぜ問題なのか

道路脇や人家の横にある大きなナラ類が枯れると安全が脅かされます。ナラ類は腐朽が激しく、放置すると枝の落下や倒伏の危険があり、隣家や道路を通行中の人や車への被害が想定されます。通行を阻害することもあります。別荘地や観光地では、景観へのダメージが懸念され、例えば一碧湖周辺のナラ枯れは景観を損なっているようです。



カシナガが穿入して枯れたコナラの木

ナラ枯れについて伊東市の対策からご紹介します（伊東市のホームページから抜粋）

＜伊豆におけるナラ枯れの状況＞

当初、静岡県西部で多く見られた被害は徐々に県東部方面へ拡大しており、伊豆地域では南部で多く見られた被害が北上傾向にあり、本市を含め近隣市町でも被害が確認されています。

＜ナラ枯れとは＞

ナラ枯れは、カシノナガキクイムシ（通称：カシナガ）という虫が、ナラ・カシ・シイ類の樹木に穴を開けて侵入し、体に付着した「ナラ菌」が幹の導管内に入り込み通水機能が失われ樹木が枯死する現象です。しかし、コナラの場合、ナラ菌に感染すると2～3割が枯死しますが、残りの7～8割は生き残ります。カシナガが侵入しても多くが生き残るので、その地域の森林を絶滅させるような被害が発生するものではなく、3～5年程度で終息すると言われています。

＜主な被害対策：防除と予防＞

主な被害対策は伐倒駆除や予防剤注入です。

伐倒駆除では、丸太をチップにする方法と、丸太をビニールシートで被い、薬剤でくん蒸する方法があります。破砕による方法としては、チップの厚さを1センチ以下にし、根株のくん蒸が必要です。処理は5月末までに終わらせるのが適切です。薬剤でくん蒸する方法としては、穿入がある部分を集積し、NCSでくん蒸します。材にはチェーンソーで切れ込みを入れ、NCSは材1立方メートルあたり1リットルとし、シートの端はガスが漏れないように確実に埋め戻します。くん蒸期間は14日間とし、5月末までの終わらせ、12月～2月は行わないのが適切です。

予防剤注入は、幹に穴をあけて薬剤を注入し、ナラ菌の繁殖を防ぎます。

現在伊東市では、職員による巡回や市民の方からお寄せいただく情報により、状況把握に努め、静岡県と情報を共有しているところです。



枯れた木は、強風で倒れて周辺に被害を与える恐れがあります。早めに伐倒の措置を。